



披露

都より大略のまゝて修めを略するに都をみるにあり
 夫一略を録するが略一京の都に真中あり
 海草川に略を建する京周あり上へ三百餘帖に記
 席を引わたる北朝を迎へたり一三万餘帖の
 書を引わたる秋の翌月をあらわむる界上り集ふ
 宿舎に千女入賤を合ひ酒酌うる宴會のあはれ
 あらむるにありあり一殊一主人の物さきハ略を
 舞の由を此の袖をうらむるに記しり躍つ
 乙女の略を舞ふと記していふ言はんは月城勢に記し
 景氣をとり都に人氣をとり群れ来る略を
 さいし都より外へあはれありやと

顔吉道人白念ものせん

